

平成28年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 地域農業工学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆(シャープペンシルを含む)書きにすること。

問 題

平成27年3月に政府で閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」において、我が国の社会構造やライフスタイルの変化を示すデータとして、「総人口に占める生産年齢人口（15～64歳）の割合」（図Ⅰ）と「品目別食料支出割合（全世帯）の将来推計」（図Ⅱ）が挙げられています。これらの図を参照して、我が国の人口減少社会の到来に向けて、これからの食料・農業・環境・エネルギーに関わる課題について地域農業工学科で学ぶことにより、どのように課題解決に役立てることができるか、あなたの考えを800字以上、1000字以内で述べなさい。

※非公開

図Ⅰ 総人口に占める生産年齢人口（15～64歳）の割合

※非公開

図Ⅱ 品目別食料支出割合（全世帯）の将来推計

（農林水産省、『食料・農業・農村基本計画の概要』，農林水産省，2015年，4～5ページ，抜粋・一部改変）

平成28年度入学試験問題

小論文

農学部 地域農業工学科

出題の意図

この小論文の出題の意図は、地域農業工学科で学ぼうとする受験生が、アドミッションポリシー*に関連する食料・農業・環境についてどのくらい関心があるか、また、具体的な事案の例示を参照しつつ、課題解決について考える力があるかを、本年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」からの図表をとりあげて、食料・農業・環境・エネルギーに関わる課題とその対応について論述させることで総合的に評価するものである。

*地域農業工学科のアドミッションポリシー

農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志す、学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。

- ・ 農業・農村の環境整備とそれらが発揮する多面的機能の維持管理に関心がある人
- ・ 農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人
- ・ 自然エネルギーを活用した循環型地域システムを考えたい人